

プロジェクトの概要

スワンベーカリー三原店(知的障がい者と健常者が共に働き、パンを作る店)へ製造器具、販売用什器、備品の寄贈

障がい者の社会参加、自立の道は大変きびしいものがあります。私達の地域で、知的障がい者施設「わくわく工房」とその家族が「自立」をめざして2000年にパン屋(スワンベーカリー三原店)を開きました。経営状態は決してよくありませんが、現在まで頑張ってきています。しかし、パン作りの道具も老朽化しており、障がい者が使いやすい天秤や、什器、備品、分りやすい壁掛け障がい者時計も必要としていますが、自分達で購入する余裕がありません。

私たち空港ロータリークラブは、地区補助金を利用して、スワンベーカリー三原店にこの道具を援助することにいたしました。そして、地区補助金の申請が受け入れられ、道具を援助することができました。この援助により道具の更新ができ、障がい者達がパン作りに尚一層励む事ができます。

そして、焼きたての美味しいパンを地域に提供し続ける事が、販売促進、ひいては障がい者との共生を意識付ける事にもなり、障がい者の生活向上、自立への基盤づくりに役立つと考えます。



10月20日贈呈式(例会場にて)

「障がい者用時計」時間が読めない障がい者に優しい音色で“時”を知らせる壁掛け時計。



2001年3月から、毎月第1例会で前日に売れ残ったパンを、会員達が購入。



贈呈式・納品・セッティングも終わり喜んで頂いています。

